土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

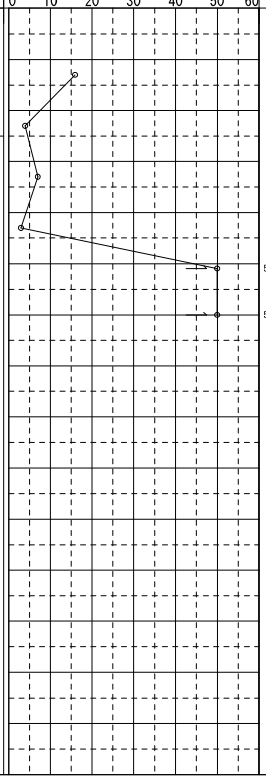
調査名	主要地方道　三次庄原線　交通安全施設整備事業に伴う測量・設計業務委託(交付金)
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　橋梁・高架

ボーリング名	BorNo.R3-WBr-2	調査位置	広島県三次市三良坂町　地内(主要地方道　三次庄原線)	北緯	34° 48' 10.9897"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和4年 3月 8日～ 令和4年 3月11日	東経	132° 59' 21.1989"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 217.52m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
地盤勾配	25° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　D1-C48型		
総削孔長	10.00m		エンジン：ヤンマー　TF120V-E型	ポンプ	東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	216.92	0.60		礫混り砂質土		暗褐			盛土 ・上位は草根混じる暗褐の腐葉土 ・礫はφ20-75mm程度の中-粗礫が混入 ・砂は中-粗粒砂、細粒分を伴う	
1				玉石混り砂礫		暗褐	rd3		盛土 ・玉石はφ80-100mm程度が混入 ・礫はφ20-75mm程度の円磨度高い中-粗礫 ・基質は中-粗粒砂から成る砂質土	
2	215.52	2.00								3/9 2.50
3				玉石混り砂礫		淡褐	rd2		河成堆積物 ・河成堆積物を主体に場所的に暗褐-黄灰色の崩壊土砂を挟む ・玉石はφ80-100mm程度が混入 ・礫はφ20-75mm程度の円磨度高い中-粗礫 ・基質は中-粗粒砂から成る砂質土であり、全体にしまりなく非常にゆるい ・下部に従い、礫径は細粒化する ・GL-3.80-4.60m間、黒褐の腐植を挟み細粒分やや優勢な後背湿地堆積物	
4										
	212.92	4.60								
5	212.32	5.20		安山岩		青灰			吉舎安山岩(DH) ・岩質堅硬なるも節理発達 ・採取試料は岩片-短柱状を呈し、節理間に黄灰色の膠着物を挟む	
6				安山岩		青灰			吉舎安山岩(CM) ・岩質は概ね新鮮かつ堅硬 ・採取試料は短柱状主体	
	210.62	6.90								
7				安山岩		青灰			吉舎安山岩(CH)白亜紀前期火山岩 ・GL-6.50-6.70m間、節理にやや卓越し採取試料は岩片-短柱状を呈す ・石基は青灰色で緻密、長石の斑晶がやや目立ちコア肌は滑らか ・岩質は概ね新鮮かつ堅硬 ・採取試料は短柱-長柱状であり、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する ・場所的に不規則な節理発達 ・節理にて白灰色の膠着物を挟む	
8										
9										
10	207.52	10.00								
11										
12										
13										
14										
15										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	1.15	3	6	7	16/300		
16	1.45						
	2.15	2	1	1	4/300		
4	2.45						
	3.15	3	2	2	7/300		
7	3.45						
	4.15	1	1	1	3/300		
3	4.45						
	5.05	50			50/80	80	
50以上	5.13	80			80		
50以上	6.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				3/9
				3/10
				3/11